

平成22年度事業計画

事業年度 平成22年4月1日～平成23年3月31日

I コンベンション事業

1 誘致事業

コンベンションを秋田に誘致するためには、地元学協会事務局およびキーパーソンの開催意思表示や地元開催の立候補表明が大きな要素となることから、地元関係者らによる情報交換会を開催し、コンベンションの開催しやすい環境づくりにつなげる。また、コンベンションの参加規模や過去の開催実績などを踏まえ、ターゲットを絞ったセールス活動を展開し、コンベンション誘致につなげる。

(1) 誘致セールス事業

①秋田コンベンション情報交換会の開催

秋田市でコンベンションを開催済みあるいは開催予定の主催者から、準備期間や本番での問題点やその改善に向けた意見等を伺うとともに、他都市での体験に基づく情報提供や意見交換を行う。

開催予定時期：平成23年1月中旬（平成21年度は11団体15名が出席）

②学協会へのセールス活動

『コンベンション開催意向調査書／JCCB発行』や7都市情報懇談会での情報をもとに、秋田で開催可能なコンベンションをリストアップし、本部や開催地事務局への誘致セールス活動を行う。

③七都市情報交換会への参画

参加各都市において開催済み、または開催予定のコンベンション主催者を招待し、紹介し合う情報懇談会やコンベンションに関する情報交換会への参画を通じ、効率的・効果的な誘致セールス活動につなげる。

- ・懇談会開催日：平成23年1月26日（水）11:30～13:00 東京都
- ・招待者：各都市3団体以上×7都市（21年度は25団体）
- ・担当者情報交換会：年4回（5月・10月・12月・2月）
- ・加盟：旭川、秋田、前橋、岐阜、姫路、松江、鹿児島
のコンベンション推進団体

④【新規】コンベンション誘致受入れ対策連携会議事業

秋田市内における宿泊、飲食、交通、行政などの各種団体の実務者レベルで構成する連携会議を設立し、誘致に向けた課題や対策を検討する。

⑤【新規】コンベンション・キーパーソン招聘事業

秋田開催の可能性のあるコンベンション主催者を秋田市へ招聘し、会場をはじめとする現地視察やアフターコンベンションの提案等を通じ、強力な誘致を働きかける。

(2) 誘致情報収集事業

① J N T O (国際観光振興機構) の活用

J N T Oは、海外における観光宣伝、外国人観光旅客に対する観光案内その他外国人観光旅客の来訪の促進に必要な業務を効率的に行うことにより、国際観光の振興を図ることを目的に活動している組織であり、国際会議の誘致・支援及びその情報提供をしている。この機能を効果的に活用した環境整備に努める。

② J C C B (日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー) の活用

J C C Bは、国際・国内コンベンションの誘致促進およびコンベンション従事者の人材育成の事業を推進実施するとともに、コンベンションの振興のための施策を確立し、我が国全体のコンベンションの振興を図ることを目的に活動している組織であり、全国のコンベンション推進機関の大部分が加入している。

「公益法人改革制度に関する動向」や「コンベンション開催による波及効果の調査」など各推進団体の共通課題や要望など情報収集と一体的な取り組みを行う。

- ・ 総会開催日 : 平成22年6月予定 (東京)
- ・ 第1回C B部会開催日 : 平成22年5月予定 (石川県金沢市)
- ・ 第2回C B部会開催日 : 平成22年10月予定 (三重県伊勢志摩市)

※C B・・・コンベンションビューロー

③ 東北地区コンベンション推進協議会への参画

新潟、長岡を含む東北地区のコンベンション推進団体が、地区特有の共通課題に取り組み、コンベンション誘致や情報収集を目的に活動している協議会へ参画する。

- ・ 定例総会 : 平成22年10月予定 (秋田市)
- ・ 担当者研修 : 平成23年2月予定 (青森市)
- ・ 加盟 : 青森、弘前、盛岡、鶴岡、山形、仙台、気仙沼、郡山、新潟、長岡、八戸、秋田の各市コンベンション推進団体。

④ 県外各種団体への訪問

大都市圏の秋田県事務所や県人会など、秋田を支えて頂いている団体を訪問し、コンベンション開催の情報収集や情報提供を行う。

(3) 誘致宣伝事業

コンベンション開催時における当協会の支援体制や秋田のコンベンション施設などを主催者に紹介するため、誘致セールス用パンフレットやコンベンション施設ガイド、ホームページなどを活用する。

① 誘致セールス用パンフレットの作成

コンベンション開催時の支援メニューや交通アクセス、エキスカージョンの紹介などを掲載したパンフレットをリニューアル更新し、セールス活動や海外コンベンション見本市、七都市情報懇談会等で配付する。

② コンベンション施設ガイドの作成

本市でのコンベンション会場となりうる施設の収容人員や使用料金などを網羅した施設ガイドをリニューアル更新し、開催を検討している主催者等に提供する。

③ホームページの活用(コンベンション情報)

上記施設ガイドの内容や当協会が提供する支援サービスなど、主催者に必要な情報をホームページで提供する。

2 支援事業

主催者がコンベンションを円滑に開催できるよう、主催者および参加者の立場に立った各種支援を行うほか、コンベンション参加者の中には複数の学協会に所属しているキーパーソンが多く「また秋田にきたい」「他の大会を秋田で開催したい」と感じていただくような支援体制を充実させる。

(1) 支援サービス事業

①あきたコンベンション応援団（登録者：男性3名、女性25名）

人手不足のコンベンションを円滑に開催させるため、ボランティアスタッフ「あきたコンベンション応援団」を派遣し、主催者をサポートする。

活動終了後は主催者から活動状況の聞き取り調査を行い、反省点や改善点を探る。

- ・21年度派遣実績7件 延べ63人

②サービスツールの製作・配布

- ・歓迎ポスター、(21年度 各8件)
- ・観光ガイドブック配付 (21年度 65大会)
- ・コンベンションバック配付 (21年度 8,795部)

③【新規】歓迎ムードの醸成事業

コンベンション開催時に参加者に秋田らしさを体感し、歓迎とおもてなしのムードを醸成するため、一定規模のコンベンションに対して、あきた観光レディーの派遣やなまはげ太鼓などアトラクションの一部助成などを行う。

④その他の支援サービス

- ・観光バスやタクシー観光の紹介（賛助会員や他団体との連携）
- ・おみやげ臨時販売コーナーの設置（賛助会員との連携）
- ・宿泊や交通などコンベンション関連業者（賛助会員）の紹介 ほか

3 調査・情報提供事業

コンベンション開催による経済波及効果や、人的、文化的交流などの社会的波及効果、秋田で開催されるコンベンション情報を調査し、情報提供を行う。

(1) コンベンション開催調査・情報提供事業

秋田県内の各種団体へ大会実施予定を調査し、賛助会員へ「コンベンションカレンダー」として情報提供するとともに、協会ホームページにより広く公開する。ただし、開催地事務局連絡先を記載した「コンベンションカレンダー」は賛助会員へのみ提供する。(平成23年1月中旬予定)

(2) 【新規】 コンベンション波及効果等調査・情報提供事業

地域の活性化につながるコンベンションの有効性について、行政や地元経済界、民間の各機関からの理解と支援を得る必要があることから、コンベンション参加者へのアンケートによるデータ収集と、それを基づいたコンベンション開催による経済波及効果等を定量的に測定し、調査結果をフィードバックすることによる理解促進を図る。

Ⅱ 観 光 事 業

1 観光客誘客宣伝事業

観光客誘客宣伝事業では、既存の観光行事を「観光誘客の素材」と位置づけ「千秋公園桜まつり」や「竿燈まつり」などの魅力を磨き上げ、秋田ならではの素材を活用した誘客活動を展開し、交流人口の増加を目指す。

(1) 観光行事開催事業

①千秋公園桜・つつじまつり（秋田市と共催）

ア 桜の名所100選に選ばれた「千秋公園」の桜やつつじなどの素材を活用して賑わいを創出し、ホームページやマスコミなどを活用して県外からの誘客に努める。

会期：桜まつり・・・4月16日(金)～27日(火)（12日間）

つつじまつり・・・5月中旬から下旬（15日間）

内容：主催事業・・・ライトアップの強化、二の丸ステージでのイベント、露店の調整（出店、電気工事）、ホームページでの開花状況のお知らせなど

受託事業・・・ぼんぼりや桜のライトアップ等照明・放送設備工事、会場内の清掃、つつじのライトアップ等

イ 地域の商店街や関連団体との連携による更なる魅力アップを図るため、協議の場を設置する。

②竿燈まつり

竿燈まつり会期：平成22年8月3日（火）から6日（金）

ア 竿燈まつり実行委員会受託事業の実施

竿燈まつり実行委員会受託事業の実施ならびに賛助会員へ発注する。

受託事業：竿燈観覧席予約センターの運営、警備員の配置、印刷物（ポスター、交通規制図、座席案内図）の作成、観覧席長イス設営・管理全般、従事者用弁当の発注、臨時職員の雇用

イ 竿燈まつり協賛行事の開催（自主事業）

竿燈まつり期間中の協賛行事として、賛助会員を対象とした特産品等の臨時店舗を設営し来場者の利便を図る。

※旧産業会館跡地、秋田駅前アゴラ広場、秋田市役所駐車場などで一体感のあるイベントを開催予定。

ウ 竿燈うちわの製作、販売

当協会の収益事業として竿燈観覧席と同時に予約販売する他、竿燈期間中は竿燈まつり案内所等で販売。1本100円。

※平成21年度は30,000枚製作し16,642枚を販売。在庫は市内の福祉施設へ寄付したほか、1月に東京ドームで行われたイベントにてノベルティとして配布した。

③河辺・雄和活性化事業（雄和華の里秋祭りの開催）

河辺、雄和地区の魅力ある観光資源を活かしたイベントを開催し、多くの観光客を呼び込み、地域の活性化を図る。「雄和華の里秋祭り」は、雄和華の里のダリアが満開となる時期に併せて物産品等を販売するほか、ダリアの魅力を活用した「ダリア染め体験コーナー」や「フラワーアレンジメント体験」、フリーマーケットなどを開催する。

会 期：平成22年10月上旬予定

会 場：雄和糠塚華の里エリア

④【新規】冬期イベント開催事業

秋田市と連携して観光客数の落ち込む冬期間の賑わいを創出し、誘客の起爆剤となるような新たなイベントを開催する。

(2) 誘客・宣伝事業

①観光ガイドブックの製作

秋田市観光ガイドブック遊来楽「ゆらら」増刷

日本語版（冊子）30,000部 日本語ダイジェスト版（リーフレット）50,000部印刷
※外国語版に関しては在庫が無くなり次第増刷対応し、発注部数を調整する。

<在庫>

英語版（リーフレット）2,000部

韓国語版（リーフレット）2,500部

簡体字版（リーフレット）500部

繁体字版（リーフレット）500部

②あきた観光レディー事業

平成21年度、4年ぶりに新規採用したあきた観光レディー5名を県内外での観光PRや各種イベントへ派遣する。※2年任期の2年目

※平成21年度派遣数（見込み）：25件 延べ67名

③他県での観光PR

秋田市や秋田県観光連盟などの他団体と連携し、竿燈まつりを始めとするイベントや特産品等を他県へPRする。

- ・竿燈キャラバンの実施(予定)

会 期：平成22年5月

場 所：首都圏

- ・日本海寒鱈まつり会場でのPR

会 期：平成23年1月中旬

会 場：山形県鶴岡市

④ホームページでのPR(観光情報)

秋田市と当協会の共同運営による観光情報サイトを新規に立ち上げ、観光情報の一元化と充実を図る。なお、既存の当協会ホームページはコンベンション情報、賛助会員専用継続運営する。

2 観光客受入対策事業

観光客が快適な滞在期間を過ごせるよう、案内機能の強化と観光メニューの充実を図り、また、協会に寄せられる観光客の意見や感想を、関係する団体や個々の事業所に対し公表し、受入体制の整備に活かしてまいります。

(1) 秋田市観光案内所運営事業（秋田市受託事業、秋田県受託事業）

①観光情報の提供

多様化する観光客のニーズに対応するため、市内・県内の観光行事やアクセス情報などに加え、地元人ならではの情報も幅広く収集し、多彩で魅力ある観光情報を提供する。また、収集した情報をテーマ別に整理し、必要に応じてすみやかに提供できるようデータベースを充実する。

②【新規】レンタサイクルの試行実施

秋田駅周辺から大町エリアの観光名所・施設等を周遊するうえで、観光客ニーズの高いレンタサイクルについて、試行的に秋田駅西地下自転車駐車場に5台設置し、無料レンタルを行う。

③職員の研修

接遇やホスピタリティを主題とした研修を行い、職員の案内資質の向上を図るとともに、観光地や他都市の観光案内所を訪問し、問い合わせの多い名所や施設、その周辺の交通・宿泊・飲食環境などを学び、案内業務の充実を図る。

④広域観光案内のための連携

秋田県内における広域観光案内の需要に対応するため、県内各地の観光案内所が一定の情報を共有し案内できるよう、各観光案内所職員等が一堂に会し、業務上の共通課題等について意見交換を行う機会を設ける。

(2) 秋田市観光案内人事業

①「秋田市観光案内人の会」への活動支援

「秋田市観光案内人の会」が行う観光案内に関する研修や接遇マナー研修などの自主的な活動に対し補助金を交付し支援する。

②秋田市観光案内人の活用

観光客が滞在時間を有効に活用でき、市内の観光名所や伝統行事の歴史的背景などについて、理解を深めながら楽しんでもらうため、秋田市観光案内人を派遣する。なお、平成22年度は新規に公募する。

派遣費用：1時間につき1,000円

登録人数：28名(3月現在)

※秋田市観光案内人の会とは

平成8年の秋田市観光案内人制度発足以来、当協会主導で観光案内のための研修や派遣を行っていたが、平成19年度の10周年を機に、秋田市観光案内人が独自に事業を行い、活動の幅を広げるため「秋田市観光案内人の会」を結成したものの。

(3) 受入体制整備事業

①観光客の要望等の情報提供

協会や観光案内所に寄せられる接客や交通など受入に関する意見や要望を観光客の生の声として、それぞれ行政や関係団体、関連企業等に伝え、改善等図ってもらうことで、受入体制の向上に活かす。

②【新規】当協会事務所窓口の臨時開業

当協会事務所が1階の路面に移転したことから、観光客の多くなるゴールデンウィークやヤートセ秋田まつり開催時など、事務所窓口を臨時開業し、受入サービスの向上を図る。

3 調査・企画事業（ふるさと雇用再生臨時対策基金 秋田市委託事業）

既存観光資源の磨き上げや新たな観光素材を創出するため、また、効果的な誘客宣伝活動に結びつけるため、各種調査を実施し事業に活かす。

(1) 観光情報調査事業

①市内および周辺観光地の観光情報データベースの充実

多様化する観光ニーズに応えるため、市内を中心とした行事や食、豊かな自然などの観光素材（例：地元の人が美味しいという店・新作のお菓子・今しか見られない風景など）を、聞き取り取材により収集・整理し、ホームページ等で提供する観光情報データの充実に図る。

②観光客満足度調査の実施

市内の観光施設や宿泊施設の協力を得ながら、秋田市滞在中における宿泊や飲食、交通アクセスなどの満足度を調査し、受入体制の充実にに向けた取り組みに活かす。

③他県での観光等PRの実施

取材により収集したデータを活用し、潜在的な秋田の観光資源を他県での物産展等で広く周知し、売り込みを図る。

(2) 観光素材創出事業

①新たな観光資源の発掘と民間開発の支援

ふるさと雇用再生臨時対策基金を活用し整備した観光情報データベースをさらに充実するため、新たな観光資源の発掘を継続して行うとともに、地域資源の観光資源化を目的としたワークショップ等を企画・開催し、民間事業者らとの協働による新たな観光資源の発掘と民間開発の支援を行う。

Ⅲ 組織推進事業

1 組織強化事業

組織強化事業では、賛助会員に対するメリットの提供やサービスの充実を図り、賛助会員との交流や新規加入会員の増加を図るとともに、平成23年度の公益法人認定申請に向けた準備に取り組む。

(1) 賛助会員事業

① 賛助会員との交流

ア 賛助会員交流会の開催

賛助会員が一堂に会する場を提供し、相互に情報交換や親睦を深めることで、一体感のある組織づくりを目指す。

・開催日：平成22年5月（予定）

イ 既存賛助会員の事業所訪問

賛助会員が当協会に求める役割やメリットを再整理するために、個別訪問による聞き取り調査を行うとともに、当協会の事業内容等について新鮮な情報提供を行う。

② 加入促進活動の実施

加入口数に応じたサービスや新たな賛助会員メリットを検討するとともに、加入促進担当職員を配置し、新規賛助会員の獲得および加入口数の増加を図る。

(2) 組織連携事業

① 市民県民や各種団体との協力体制の仕組みづくり

地域の活性化に向けた市民・県民や各種団体との連携会議等に参画し、効率的な事業の充実を図る。

・連携団体：秋田県、秋田市、秋田商工会議所、河辺雄和商工会、スポーツ関連団体など

(3) 公益法人制度改革への対応

平成23年度の移行認定申請を見据え、顧問税理士・会計士等を交えた移行準備プロジェクトを立ち上げ、新会計基準によるシミュレーションなどを行い、秋田市との政策目的と合致した公益性の高い自主事業の展開が可能な体制づくりへの準備を行う。

2 組織宣伝事業

観光とコンベンションが地域に及ぼす波及が大きいこと、将来的には協会の役割と重要性が更なる増すことを市民県民に理解してもらうため組織自体のPRを行う。

(1) 組織宣伝事業

① 各種イベント開催情報の提供などによるマスコミ媒体等を活用しての協会PR

② パースンのメール配信やホームページを活用した当協会の活動紹介。

IV 売店運営事業（特別会計）

1 売店事業

（1）千秋公園売店運営

期 間：4月中旬～11月中旬

営業時間：9時～16時（悪天候時等は閉店時刻変更）

（2）八橋運動公園売店運営

期 間：4月下旬～10月下旬の土、日、祝日、大規模大会等開催時営業

営業時間：9時～16時（悪天候時等は閉店時刻変更）

（3）県立中央公園スポーツゾーン売店運営

期 間：4月下旬～11月中旬

営業時間：9時30分～16時30分営業（悪天候時等は閉店時刻変更）

2 自動販売機設置事業

設置箇所：千秋公園売店、八橋運動公園売店、西部体育館、楢山コミュニティーセンター、スポパークかわべ、へそ公園、岩見三内コミュニティーセンター、河辺福祉交流センター、秋田県立中央公園、雄和体育館、雄和南体育館、花の森運動公園、B&G 海洋センター、ふるさと温泉特別養護老人ホーム花の家、高尾山、雄和農林漁家高齢者センター